ここが違う！二藤部クラスの特長

1 一方的に「聴く」講義ではなく「考える」講義

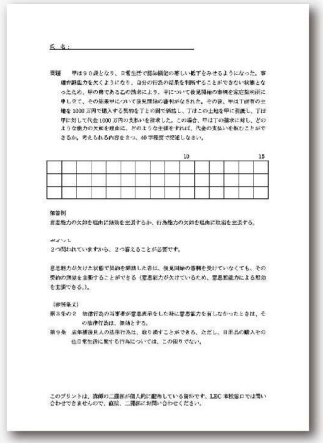
聴くだけの講義では脳へのすりこみが弱く、知識の定着が薄いと考えています。私の講義では、いわゆるアクティブラーニングを目指していきます。義務教育にも導入することが決められている方法です。アクティブラーニングは、「主体的、対話的で深い学習」とも呼ばれ、端的にいえば、能動的に学習に取り組むということを意味しています。講義を聞くだけでなく、自分で考え積極的に講義に参加し、学習効果を上げられるようにします。私の講義は、講義中に受講生の皆さんにたくさん質問します。質問するといっても、名指しして一人に答えてもらうわけではありませんので安心してください。全体に質問して、一人ひとり自分で考えてもらいます。自分で考え、法律を考える力を養いましょう。

2 実務もこなす講師だからこそできる！実務のお話

私は平成 17 年（2005 年）に行政書士開業し、約 20 年の実務経験があります。私のメインの業務は外国人関連の業務ですが、他にも相続手続きや会社設立、契約書の作成など、いろいろな業務を取り扱ってきていますから、講義では実務のこともお話できると思います。皆さんが「講義に集中していない」と感じるときは、積極的に実務の話もしていこうと思っていますので、そんなときは実務の話で一息ついてください。また行政書士試験合格後、どのような実務を行うかのイメージを持って学習できれば、学習のモチベーションもあがるでしょう。

3 二藤部講師オリジナル記述問題の宿題

行政書士試験では、４０文字程度の法律文章を書かせる記述問題が３問出題されます。１問の満点は２０点ですから、３００点満点中６０点と配点は大きく、記述対策は必須です。しかし、受講生の皆さんが記述対策として自分の書いた答案を誰かに採点してもらう対策をすることができるのは、模試等が始まる夏以降です。そこで、二藤部クラスでは、民法の講義が一通り終了した時点から、毎週１問ずつのペースで民法の記述問題の課題を出します。それを自宅に持ち帰り、４０字程度の記述の答案を書きあげて提出してください。提出された課題は、回収して私が講評を書き加え得点をつけてお返しします。解説や講評を書き採点していますから、解答はもちろん解説や講評、参照条文を記した答えを配りますので、自分の答案と比べてみてください。記述は択一問題の知識が基礎となります。択一の知識がおぼえられていないと、なかなか記述の解答を出すのは難しいです。二藤部クラスで行う記述の課題を通じ、条文やテキストを再確認し、記述対策をしていきましょう。



こちらの特典は、二藤部クラス（通学のみ）限定です。

二藤部クラス講義の様子

二藤部講師は水道橋本校・千葉本校を担当しています。LEC のクラス間乗り入れ制度※ により、どちらの校舎でもご受講可能です。講師の実務経験を交えた熱い指導で、本試験合格を目指しましょう。

※乗り入れ制度、講義スケジュールの詳細は、2026年合格目標行政書士パンフレット・スケジュール冊子をご確認ください。

二藤部クラス合格者からのメッセージ

令和 6 年度合格 H.S. さん

二藤部講師の講義は全体を通じて、お話しされた内容が頭に残りやすかったです。試験本番の記述問題を解くにあたっては、二藤部講師が講義で話していた情景がぱっと頭に浮かんで、論点を正確に思い出すことができました。憲法や民法の抽象的な部分は板書で図式化して説明してくださったので、理解がしやすかったです。また、二藤部講師が独自にやって下さっていた記述問題の答練は、本当にありがたかったです。記述問題をどうやって勉強したらいいか困っていたので、非常に勉強になりました。

令和 6 年度合格 R.K. さん

二藤部講師は、毎授業ごとに自作の民法の記述対策用のプリントを配布してくださって、これが日々の勉強においても本試験においても非常に重要だったと思います。自分ではその分野について理解したと思っていても、実際にいざ記述をしてみようとすると中々書けないということも多く、もちろん LEC でも記述対策をしてくれてはいますが、実施時期が割と本試験に近づいてきてからということもあって、そこから始めていては勉強のスケジュールが非常に大変なものになっていたのではないかと感じました。その点、二藤部講師は記述で重要な科目である民法において、事前に触れさせてくれていたので感謝しています。